

地域の寺子屋推進フォーラム実施報告



実施日 平成27年12月23日(水)

会場 川崎市立上丸子小学校

主催 川崎市教育委員会

共催 川崎市経済労働局、川崎市地域教育推進協議会

第1部 寺子屋「かみまるこ」土曜体験活動



チーム等々力「ものづくり体験」

参加者 親子34組

| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|
| 万華鏡づくり | 2組 | 4組 | 1組 | |
| くるまづくり | 4組 | 1組 | 1組 | |
| メタルパッチワーク | 2組 | 2組 | 1組 | 1組 |
| こまづくり | 4組 | | 2組 | |
| ミニロボットづくり | | 5組 | 4組 | |



(子どもの感想)

- ・むずかしいところもあったけど、つくれたからうれしかった。まんげきょうだいじにします。(2年生)
- ・ぼくはカタナをもったミニロボットを作ることができました。楽しかったわけはいろいろなことを作って組み立ててかっこよくできました。(2年生)
- ・ぺんちできんぞくをまげるのがたのしかったです。(1年生)
- ・メタルパッチワークは初めてだったけど上手にできてうれしかったです。家でもやりたいです。(4年生)



株式会社浜野エンジニアリング「3Dスキャナ・プリンタ体験」

参加者 親子4組（4年生1組、5年生3組）



（子どもの感想）

- ・PCでキーホルダーの厚みや、名前のイニシャルなどをつくるのが楽しかったです。3Dプリンターの活用やしくみを知ることができました。現在の医療で何に使われているかなどくわしく知ることができました。（5年生）



川崎パパ塾「紙飛行機づくり」（参加自由）



（子どもの感想）

- ・いつもじぶんがつくった紙ひこうきよりもすごくとんだ。（2年生）

第1部 体験活動の見学者（参加親子をのぞく） 約40名

（第1部を見学された方の感想）

- ・本日のイベントでは、3D関係が興味をひきました。
- ・チーム等々力の小さな部品で作る工作は、子どもたちもとても楽しそうでした。
- ・紙飛行機は、お子様はもちろんのことお父様たちが目を輝かせて参加されているのが印象的でした。

第2部 寺子屋実施団体からの実践報告 ～ 第3部 シンポジウム

参加者数 約100名



寺子屋実施団体からの実践報告

- ・ 臨港中学校区地域教育会議
- ・ 寺子屋富士見っ子実行委員会
- ・ NPO 法人教育活動総合サポートセンター寺子屋西生田



シンポジウム「子ども達の放課後や土曜日の豊かな時間と地域の教育力」

コーディネーター

川崎市長 福田紀彦

パネリスト

川崎市教育委員会教育長 渡邊直美

放課後NPOアフタースクール代表 平岩国泰

デリーター株式会社社長 金子一郎

川崎市地域教育会議推進協議会会長 米田信一

多摩川クラブ代表 中本賢



(参加者の感想)

- ・ 各寺子屋の素晴らしい取り組み、興味深かったです。内容のアイデアをたくさんいただくことができました。学校が地域の拠点となり、子どももシニアも元気になっていく寺子屋が大事だと思いました。寺子屋を一面的にしか見ていなかったことに気づきました。“学び”“かかわり”“地域”キーワードとして核にしていきたいと思います。
- ・ 様々な立場の方の考えが聞かれ参考になりました。本校でスタートする時に、関わる方のご意見を少しは支援する方向で施設をお貸しできるかなと思います。子どもの“楽しい”が広がり、子ども同士のかかわる力が育成される寺子屋にしていきたいなと思いました。(学校関係者)
- ・ 市長の想いが初めて少しわかりました。アフタースクールの平岩さんが発表されていた、子どもの願い「友達とみんなで」にはグッときました。「子どものために地域と学校が協力して」進める事業なんですね。
- ・ 学校が地域を拠点として一層核になるために、学校としてなすことは何かを考えました。地域の方の力を最大限に生かし、保護者の力を生かしていきたいと思います。顔と顔が会う地域だからこそできること、かがえていきたいです。子どもと地域の方が何をやりたいのか選択する事ができるという点がとても大切だと思います。そういう意味でも、寺子屋事業の意義を感じます。(学校関係者)

- ・大学としての役割を強く感じました。地域のハブの一つにならなくてはならないと思いました。
- ・多様な取り組みがなされて、スタートが無事に始まった感じです。これからの活動、取り組みが楽しみです。
- ・大人自身が楽しむということが大切だとよくわかりました。
- ・寺子屋事業を今年度、新規で立ち上げる小学校の保護者です。事業が急に始まり、何の予備知識も無いままでした。本日、フォーラムに参加し、数あった疑問も納得のいく答えが出ました。まずはPTA向けに成人教育学級などで寺子屋の姿を告知する事で保護者の誤解をほどこき、運営への理解と協力を促したいと思いません。まだまだ未知数の事業です。多くの人に知ってもらい「カワサキの子ども」たちの豊かな育ちのお手伝いできればと志を新たにしました。
- ・キーワードは「自己肯定感」ですね。子どもだけでなく、全ての世代の。
- ・大変参考になりました。ありがとうございました。今後、寺子屋事業に参加したいと考えています。
- ・平岩さんのアンケートの結果等のお話も多く気づきがありました。企画や準備からかかわるというお話、なるほどと思いました。
- ・実践報告は参考になりました。運営の人数が少ないようですが、それでも充実した内容が実施できるのだと感じました。早期に取り組んでいるのは、非常にやる気があり、運営能力の高い方々かもしれません。
- ・アフタースクールの平岩さんの話は非常に参考になりました。寺子屋がもっと広がると同時に、認知度があり自然と関わっていく人が増えるといいですね。
- ・シンポジウムで様々な団体の方々の意見が聞けて、多角的に寺子屋を考える機会になりました。
- ・放課後NPOアフタースクールの方のお話もとても興味深かった。中本さんの川に関わるお話もとても興味深かった。当時の校長先生の勇気、感動しました。大人が楽しむというのは本当に大切ですね。私の息子達も多摩川には入れず成長してしまいました。残念です。学校と地域がつながることもポイントです。これから寺子屋で関わらせていただくことになるのですが、とても楽しみです。
- ・素晴らしい活動をしている地域があることが分かった。寺子屋に参加してみたい。
- ・子どもが主役か、地域が主役か、中途半端にならないように。理念の再確認か見直しが必要か。主役の子どもから地域に変わりつつあるような気がするが。

フォーラム実施に向けて多くの方のご協力とご尽力をいただき、
またたくさんの方にご参加いただきました。ありがとうございました。

